

平成25年度 事務事業マネジメントシート

事業名	財務管理事務事業			会計	款	項	目	大	小
				01	02	01	05	01	01
政策	06	公・民バ・トナ・シップによる構想実現と効率的、効果的行政運営（行政の充実）			主管課	財政調整課			
施策	6-2	健全で効率的な行政運営			主管課長	安井 彰			

事務事業の目的・内容

事業目的	対象	財務事務に係る経費	意図	財務事務を効率的に執行する。
事業内容	財務事務に係る事業の運営に関する共通事務経費（予算編成、地方財政状況調査、地方交付税算定、起債事務、決算事務等が含まれる。）			
事業開始から現在までの状況変化	<ul style="list-style-type: none"> ・行政報告書の印刷部数を見直すなどにより、経常経費の節減を図った。 ・財務会計システムのカスタマイズにより、予算編成事務や伝票事務の省力化を図った。 			

事務事業の実績・現状及び成果を表す指標の動きとコストの状況

指標	名称	平成23年度	平成24年度	平成25年度	単位	目標方向	算定式（成果指標の場合）
指標で表すことができない定性的な成果							目的に対する現状（客観的事実・データに基づく現在の状況や取組状況）
事務事業のコスト	平成23年度	平成24年度	平成25年度	財務会計システムにおける「レーザープリンター」を再リースすることにより、経費の削減を図った。			
事務事業の総コスト(a=b+c)	41,125,747	36,472,647	33,124,011	財務会計システムの更新に関する経費は別途、政策的事業とした。			
事業費(b)(円)	9,944,947	7,431,847	4,847,211				
うち一般財源	9,944,947	7,431,847	4,847,211				
職員給与費(c)(円)	31,180,800	29,040,800	28,276,800				
人役・職員(人)	4.00	4.00	4.00				
人役・再任用(人)							
人役・臨職(人)	0.80	0.30	0.30				
人役・嘱託(人)							
初期投資コスト(円)（建設又は取得年度のみ記入）							
想定耐用年数（年）（建設又は取得年度のみ記入）							

事務事業の評価、今後の方向性及び業務改善 < 主管課長記入 >

(1) 事務事業についての評価及び今後の方向性

個別評価	必要性	今後の必要性	A 必要性が高まると考えられる	有効性	目標達成度	A 達成できた
		市関与の必要性	A 市が担うべき	効率性	対象者の適切性	A 対象者は適切である
					コストの削減	A 削減の余地はない
総合評価	継続（事業を現状どおり継続すべき）					

(2) 事務事業の業務改善について

今年度(H25)の改善計画	事務の効率化を図り、予算編成事務などで発生する経費の削減を図る。
今年度(H25)に実施した取り組み	経費の削減を図るために、プリンターを可能な限り使用するため、業者と協議して再リース契約とした。

取り組みの課題	国の法改正などにより新たな財務事務があるなかで、事務の効率化が求められる。
今後の改善計画	国が進める新公会計制度の進展に合せ、財務会計システムの改修等の研究をしていく。